

草津市立第四保育所

日時：2018年11月15日（木）13:15-17:15

2018年11月29日（木）9:30-16:00

場所：草津市芦浦町310-1

少し涼しくなった11月、周囲には田んぼと自然がすぐそばにある草津第四保育所。田んぼ道を抜け、大きな神社の境内にやってきました。道中だけでも様々な自然に触れ、境内では、広さを利用して保育者自身も楽しく研修会を行いました。今回は夏が過ぎ、涼しくなる中で広々とした自然の中でプログラムを行いました。
(対象：4・5歳児32名)

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

立ち止まって保育を見直そう

普段忙しくて、自分の保育を振り返ることが少ない保育現場。この研修では、プログラムを体験したり、自らつくる経験を通して、保育者が元気になり、普段の保育を振り返り、次に活かしてもらうことも目的の1つにしています。

神社境内では、広さを利用した研修で自然の中では多くの事が出来ることを再認識し、生えてる木、落ちている様々な自然物から多くの遊びを見つけました。



境内に行く途中に、道端に生えていたネコジャラシの説明。手でつかんで揉むと手の中から出てきます。「行く途中でも周りを見渡せば自然がいっぱいあるんだな」

広い境内で鳥・虫かくれんぼ。鳥は木に留まって隠れた虫を探します。「全然わからない…」虫は木の後ろに隠れています。



メジャー・ツリー

境内に生えているたくさんの木、そんな木には枝、葉、実がついているという基本的なことに気づこうというプログラム。自然の中に落ちているものを一つずつ拾っていき、葉であれば大きさや色、枝であれば長さ、木の実であればグループで集め重さ比べなど、様々な違いに触れ自然の中にはたくさんの物があることを気づくことができるプログラムです。

友達同士で協力し、より楽しく、より自然を知ることができました。

どんぐりとは違う実を見つけたよ。どこの木についていたのかな？



見つけた枝をグループで並べて、どこが一番長いかな？「すごく長くなったなあ」

小さな小さな実があったよ。どんぐりもあれば、変わった形の実もあるね。

グループで実を集めて重さ対決だ！どの班が一番多く集めることができたかな？



森の音楽隊

境内の林にはいろんな枝、葉、実があることが分かりました。分かったら、次はそれらを使って音を奏でてみよう。自身で自然の物を見つけ、叩いたり、こすったり、袋に入れて振ってみたり、色々な方法で音を奏でてみよう。

音の違いを感じてから、自身で音を探しに行こう。同じ木でも叩く部分で音が違ったり、思った音と違う音が出たり、子どもたち自身で想像し、実践し、感じるプログラムです。最後はみんなで音楽隊になろう！

袋に何か自然の物を入れて振ってみようどんな音がきこえるかな？



木と木をこすって音を鳴らそう「変な音がする」「こんな音になるんだね」



花びらが笛になる！？まさかの音でみんなびっくり「花びらの笛難しい」みんな挑戦していました。



「たいこみたい！」整備で切られた木を太鼓に見立てて楽器にしていました。

プログラムを終えてのふりかえりから

- 自然を大切にする気持ちをまず保育士が持たないといけないと感じた。
- 数字を自然で感じるようになっていた。
- 集団で自然に関わっていくには、危機管理とこまめな下見、危険な自然物を知ることが大事だと分かった。
- どのように子どもが自然と関わるか真剣に考える必要があると思った。
- 大人が少し意識するだけで自然を見る目が大きく変わった。
- 自然を使う遊びは非常に印象に残った。
- 自然の中でより子どもの自然な姿が見えた。
- 「こうしなさい」ではなく自分が感じ考えるままつくったり、見立てたりができていたと思った。
- 遊びの引き出しが増えた。
- 何度も同じ場所に向かい、変化に気づく大切さがあるなと思った。